



被爆樹を  
知っていますか？

Do you know Atomic Bombed Trees?

広島城二の丸跡のユーカリ photo by R.Sugihara

会期：2015年11月5日(木)～11日(水)

10時～18時 (最終日17時まで)

場所：今治市立大西図書館

愛媛県今治市大西町宮脇甲 506-1

電話 0898-53-3622

1945年(昭和20)年8月6日8時15分、原子爆弾投下。  
焦土と化したヒロシマで、翌年の春、再び芽を吹き返した木々。  
その小さな緑に、人々は生きる力と希望を取り戻したと伝えられています。  
爆心地から約2キロ以内で被爆し、今も生き続ける約170本を  
広島市は「被爆樹木」として登録しています。  
私は2008年から、その一本一本を訪ね歩いて、写真を撮影し、  
被爆当時の記憶のある人や、木を守っている人達の話の聴き、  
一冊の本『被爆樹巡礼』にまとめました。本展では、  
傷つきながらも、今なお生長を続ける木々の写真を紹介致します。  
木々たちの“無言の証言”を聴きとっていただけたら幸いです。

文筆家 杉原梨江子

戦後七十年祈念 原爆から蘇ったヒロシマの木

# 被爆樹巡礼

杉原梨江子写真展

杉原梨江子プロフィール  
文筆家。広島県生まれ。叔父が被爆体験証言者。日本の木の文化、世界の木にまつわる伝承や思想を研究。被爆樹、巨樹などへの取材撮影、執筆を続ける。日本文藝家協会会員。  
連絡先 tree@rieko.sugihara.com



著書『被爆樹巡礼～原爆から蘇ったヒロシマの木と証言者の記憶』(実業之日本社刊)